

様式第1 (第4条関係)

特定施設設置(使用、変更)

会社の所在地、会社名、代表者役職名
代表者名、郵便番号及び電話番号
※押印を省略する場合は、身分証等で
本人確認を実施します。

八王子市長 殿

該当するものを○で囲む

届出者住所 東京都八王子市元本郷町 3-24-1

氏名 株式会社 八王子

代表取締役 八王子 太郎

郵便番号 (192-8501) 電話番号 (042-620-0000)

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項(第13条第1項又は第2項、第14条第1項)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社 八王子 元本郷工場	※施設番号	
工場又は事業場の所在地	八王子市元本郷町3-24-1		
特定施設の種類	(大気基準適用施設) 5号 廃棄物焼却炉×1 (水質基準対象施設) 15号 灰貯留施設×1 15号イ 廃ガス洗浄施設×1	施設の種類と施設数を 記入してください。	
△ 特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙1、水質基準対象施設にあっては別紙4のとおり。	※備考	
△ 特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙2、水質基準対象施設にあっては別紙5のとおり。		
△ 発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙3、水質基準対象施設にあっては別紙6のとおり。		
緊急連絡先 (担当部署及びその所在地、担当者名、電話番号)	施設課整備係 八王子 一郎 電話番号 042-626-0000		

- 備考 1 特定施設の種類欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあっては同表第2に記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、別紙に記載がない場合は、別紙の記載事項等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

工場又は事業場の担当者の
部署及び氏名、電話番号等

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No.1 焼却炉	<p>メーカー名、種類型式名を記入してください。 例：焼却炉 火格子燃焼／固定床燃焼／多段炉燃焼 ／流動床燃焼／回転炉燃焼／（ロータリーキルン）／スプレー燃焼／充填層燃焼／多室燃焼／ガス化燃焼</p>
特定施設号番号及び名称	5号 廃棄物焼却炉	
型式	〇〇製作所 固定床燃焼 ABC-120型	
施設の設置場所	本館地下3階	
設置年月日	年 月 日	
工事着手予定年月日	〇〇年 △月 ×日	
工事完成予定年月日	〇〇年 △月 □日	
使用開始予定年月日	〇〇年 ×月 ☆日	年 月 日
規模	原料の処理能力 (t/h)	
	変圧器の定格容量 (KVA)	
	炉の容量 (t)	
	焼却能力 (kg/h)	120
	火床面積 (㎡)	0.8
その他参考するべき事項	二次燃焼	<p>該当する規模を記入。 メーカーに問い合わせるか、銘板、カタログ、設計図等で確認してください。 不明の場合は実測値を記入してください。</p>

備考 1 〇〇年〇月〇日の場合には工事着手予定年月日、工事完了年月日及び使用開始予定年月日

焼却炉で焼却能力が50kg/時未満のときは必ず記入する。

2 規模の欄には、令別表第Iに掲げる施設

3 特定施設の構造図とその主要寸法を記

炉の構造でダイオキシン類の発生を抑制する方法について記入する。
 例：助燃バーナーを設置し高温で燃焼が可能である／燃焼時間及び焼却ガスの攪拌が十分に得られる構造となっている等。

特定施設の構造概要図

(カタログ又は設計図のコピー添付でも可)

カタログ又は設計図面のコピーでもかまいません。

※使用届出に関しては、既に大気汚染防止法で、ばい煙発生施設の設置届が提出済みの施設は、構造図の添付は省略可能です。施設の構造が大気汚染防止法届出時と異なる場合には、添付を必要とします。

特定施設（大気基準適用施設）の

特定施設の設置者には年1回以上ダイオキシン類の測定を行う必要があります。測定結果は別途報告が必要です。

工場又は事業場における施設番号		No.1 焼却炉	
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	□ 時 ~ ☆ 時 ◇ 日/月	
	季節変動	なし	
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず、包装紙	
	使用割合	木くず：80%、包装紙：20%	
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)	0.002	
	1日の使用量	500kg	
排出ガス量(m ³ /h)		最大 1200 通常 800	最大 通常
排出ガス温度(℃)		150	
排出ガス中の酸素濃度(%)		15	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m ³)		最大 8 通常 5	最大 通常
その他参考となるべき事項			

不明の場合は未記入でも構いませんが、ダイオキシン類の発生にかかわるので、今後は測定してください。

設計値を記入します。不明な場合はメーカーに問い合わせてください。

焼却に際し、ダイオキシン類の発生を抑制する方法を記入してください。
例：温度計、CO計、酸素計を設置し燃焼をコントロールしている／記録を保存している等。

- 備考
- 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃と。
 - 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力(1気圧)における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度は、乾燥ガス中の濃度とする。
 - 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

別紙3

発生ガスの処理の方法

処理施設毎に記入してください。

工場又は事業場における施設番号	No.1 焼却炉 集じん装置	
名称及び型式	〇〇製作所 AP-100型サイクロン	メーカー名、処理装置の種類及び型式を記入してください。
発生ガスの処理の内容	二次燃焼室で処理できないばいじんを集じする	ダイオキシン類排出低減処理の内容を記入してください。 例：高性能集じん装置で除去／活性炭で除去等。
処理の系統	焼却炉（助燃バーナー） ↓ 二次燃焼室（二次燃焼バーナー） ↓ アルカリ洗浄 ↓ 乾式サイクロン ↓ 煙突	
施設の設置場所	本館地下3階	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 △月 ×日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 △月 □日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 ×月 ☆日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

大気関係は別紙3までです。

水洗洗浄施設を使用している場合は、別紙4以降も記入が必要です。

発生ガス処理施設の構造概要図

(排出ガスの測定箇所は必ず記入)

(カタログ又は設計図のコピー添付でも可)

排出ガス測定箇所については、必ず記入してください。

カタログ又は設計図面のコピーでもかまいません。

※使用届出に関しては、既に大気汚染防止法で、ばい煙発生施設の設置届が提出済みの施設は、構造図の添付は省略可能です。施設の構造が大気汚染防止法届出時と異なる場合には、添付を必要とします。

汚水等を事業場内で循環利用して公共水域に排出しないもの／汚水等を公共下水道に排出しているものも水質基準対象施設となります。

灰貯留施設は汚水又は廃液を排出するものが対象となります。

別紙4

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場に	No.1 焼却炉 灰貯留施設	No.1 焼却炉 廃ガス洗浄施設
メーカー名、種類及び型式 名称を記入してください。	15号 灰貯留施設	15号イ 廃ガス洗浄施設
型 式	〇〇製作所 貯留槽 B型	〇〇製作所 連続式アルカリ水噴霧洗浄施設 AP-10型
構 造	鉄筋コンクリート造り	鋼板製
主 要 寸 法	0.5m×0.5m×3m	1.5Φ×3m
能 力	0.5m ³ （灰貯留量）	1m ³ /時（水噴霧量）
配 置	別添図のとおり	別添図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	〇〇 年 △ 月 × 日	〇〇 年 △ 月 × 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	〇〇 年 △ 月 □ 日	〇〇 年 △ 月 □ 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	〇〇 年 × 月 ☆ 日	〇〇 年 × 月 ☆ 日
その他参考となるべき事項	焼却灰はNo.1焼却炉より発生する。	No.1焼却炉の発生ガスの処理をおこなう。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には、設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- ガス及びばいじん等を発生する大気基準施設を記入してください。

特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No.1 焼却炉 灰貯留施設		No.1 焼却炉 廃ガス洗浄施設	
設置場所	別添図のとおり		別添図のとおり	
操業の系統	別添図のとおり		別添図のとおり	
使用時間	□:00 ~ ☆:00		□:00 ~ ☆:00	
	◇時間		◇時間	
使用の季節的変動	なし		なし	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	なし		NaOH (45%溶液) 1kg	
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	なし	0.1	なし	0.01
その他参考となるべき事項	底部に溜まった灰からの浸出水が廃液となる。なお、構造については別添2のとおり。		ドレイン水が廃液となる。なお、構造については別添2のとおり。	

ダイオキシン類の発生箇所より、
廃水処理及び排水までの工程をフ
ローシートで添付してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量		通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項		ダイオキシン類を含む汚水は、 灰冷却用に再利用されるため、 外部への排出はない。							

外部への排出のない場合は処理施設の記入は必要ありません。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別添 1

ダイオキシン類の排出量

工場又は事業場における施設番号				
排出水の汚染状態 (ダイオキシン類) (pg-TEQ/L)	通常	最大	通常	最大
	未測定			
排出水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項				
排出先	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域 ・地下浸透 ・<u>分流式下水道</u> ・合流式下水道 		<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域 ・地下浸透 ・分流式下水道 ・合流式下水道 	

事業場の排水水について該当する排出先にすべて○をつけてください。

特定施設から、ダイオキシン類を含む排水水を公共用水域に排出している（地下浸透や合流式下水道を除く）場合は、年1回以上ダイオキシン類の測定を行う必要があります。測定結果は別途報告が必要です。

用水及び排水の

水質汚濁防止法により既に届出済みの事業所についてはダイオキシン類に関する部分を追記してください。

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>ア 事業場全体の配置 イ 給水系路 ウ 排出水の排出経路 (特定排水、間接冷却水を色分してください。) エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所 ※ア～カまで図面を添付してください。</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用 水 使 用 量 (m^3/日)</p>
<p>合 計</p>			